



晴天の下、日だまり広場で開催したリサイクル祭り

10/23 晴天の下 環境を考える リサイクル祭りIN伊豆の国
身近な環境問題やごみ問題について考える『リサイクル祭りIN伊豆の国』を、葦山時代劇場日だまり広場で開催しました。会場では、市民等によるフリーマーケットや、不用品を再生したりリサイクル品の無料配布・抽選会、ペットボトルのフタはみ堆肥で野菜づくりの実演などのステージイベントを行いました。
また会場では、10月に完成した資源循環センター『農土香』と、市が推進する『安全・安心・健康のまちづくり事業』のPRも行い、生ごみと牛ふんを利用した堆肥などを無料配布しました。



資源循環センター農土香の全景

10/19 資源循環センター農土香 運転開始
安全・安心・健康のまちづくり推進の中心部
伊豆の国市の将来像実現のための戦略の一つ「安全・安心・健康のまちづくり〜キーワードは『食と農』」。未利用バイオマス（畜糞や食品残さなど）を活用して有機質堆肥を製造し、それを利用して栽培した、安全で安心な野菜や米を市民や観光客に提供。食による健康づくりに結びつけた循環型社会を目指します。

10/31 ストリートに下駄響かせ
『第5回下駄ダンス&パフォーマンスコンテスト』を、アクシスカつらぎ前の県道で開催しました。
今年、屋内から路上にステージを移しての開催。ダンス部門に県内外の9チーム、パフォーマンス部門に3チームが出場。おなじみのタップダンスやヒップホップだけでなく、剣道や魚の生き作りなど奇想天外なパフォーマンスも披露され、会場を大いに盛り上げました。
また同時開催の『温泉まんじゅう祭り』では、まんじゅう作り体験のほか、人気のまんじゅう詰め合わせも販売しました。



思い思いの下駄ダンスやパフォーマンスを披露する出場者

その中心施設として完成したのが、資源循環センターです。施設の名称を募集したところ、49点の応募作品があり、市が考える「コンセプトにふさわしいもの」や「親しみやすさ」等の視点により審査した結果、名称は『資源循環センター農土香』に決定しました。ご応募いただいた皆さん、ありがとうございました。
なお、優秀作品1点と佳作作品1点は次のとおり。
■優秀作品■ 勝又進様
『農土香』
■佳作作品■ 『まごころ堆肥センター』 小坂豊様
10月19日の竣工式では、受賞者の表彰も行いました。受賞者の勝又さんによれば、『農土香』という名前は、農業の大切さ、土壌の大切さ、良い香りの作物の提供などをイメージして応募した』とのこと。市としても、この3文字の漢字の持つイメージ、香り豊かな農地を育てていく堆肥の製造、施設の場所がのどかな地区に建設されている等から、資源循環センターのイメージに適した名称として採用を決定しました。この日、『資源循環センター農土香』



各分野で活躍する6人の市民と県知事が意見交換

11/2 地域の実情等を県政に
知事広聴平太さんと語ろう
この日、アクシスカつらぎ多目的ホールに川勝平太静岡県知事が訪れ、知事広聴『平太さんと語ろう』が開催されました。
知事広聴とは、地域の実情や課題、新たな取り組みなどを県知事が視察・意見交換し、今後の県政に生かすために県が行っている公聴会です。会場では、農業、観光、建設、子育てなどさまざまな分野で活躍している6人の市民が川勝県知事と意見交換をし、市内外から集まった約160人が傍聴しました。
また知事広聴に先立ち、川勝県知事は、『願成就院』や資源循環センター『農土香』も視察しました。



テープカットの翌日から運転を開始



優秀作品『農土香』の表彰を受ける勝又さん

11/3 視覚障害者にも広報を
ひかりの会県知事表彰受賞
今年度の県知事表彰授賞式が県庁で行われ、当市からは朗読ボランティアグループ『ひかりの会』(代表・鈴木明子氏)が受賞しました。
『ひかりの会』は、旧伊豆長岡町時代の昭和62年、視覚障害者から「町の情報が知りたい」という要望を受け、町職員有志の協力を得て朗読奉仕活動をスタートしました。以後、合併を経て現在にいたるまでの23年間、毎月の広報紙を朗読・テープに録音して視覚障害者に配布してきたことや、対面朗読や視覚障害者との交流なども行い、長きにわたり町や市の福祉向上に貢献したことが受賞の理由となりました。



県知事から表彰を受けるひかりの会・鈴木さん

10/18 地域で見守る登下校
安全・安心な伊豆の国市へ
大仁北小学校で、『登下校みんなを見守る地域の目』推進キャンペーンを実施しました。
このキャンペーンは、昨年の葦山小学校に続き、2回目の実施となりました。市職員や大仁警察署員、校区内の各区役員、PTA、市交通指導員、老人クラブ会員など約100人が、1、2年生の下校に付き添い、地域住民や商店などに子どもたちへの声かけや見守りを依頼しました。
市では、毎年12月を『安全で安心なまちづくり推進月間』と定め、市職員による青色防犯パトロールなど各種取り組みを行います。皆さんも、安全で安心な伊豆の国市の実現に向け、ご協力をお願いします。



1、2年生の下校に付き添うキャンペーン参加者